

希望（エスペランサ）・不死鳥（フェニックス）

おはようございます。

この二つのキーワードは何を表しているかわかりますか？

今朝、テレビのニュースや新聞を見た人もいると思います。8月5日に発生した南米チリ北部のサンホセ鉱山の落盤事故、救出するためのキャンプ地の名前が希望（エスペランサ）、救出用カプセルの名前が不死鳥（フェニックス）といます。33名の作業員が69日間、地下約620mに生き埋めになってしまった大事故です。落盤事故が起きて誰もが全員死亡かと思われたのですが、事故が発生して17日が過ぎたところで地下避難用の場所に33名の生存が確認されました。地上と連絡が取れるまでの17日間は、死と恐怖の毎日だったと思います。33名が互いに励まし合いながら、きっと助けに来てくれることを信じて頑張ったのでしょう。48時間（2日間）おきに「スプーン2杯のツナ、ミルク1口、ビスケット一枚」で飢えを凌いだそうです。空腹だけでなく、精神的にも想像を絶するほどの苦痛だったと思います。生存が確認された後、地上からパイプが入れられ、食料や医薬品、励ましの家族の手紙などが送り込まれました。

今日これから、人類史上例のない地下620mからの救出劇が始まります。世界中から人間の英知を結集し、誰もがあきらめず「希望」をもってがんばったからこそ、この日を迎えることができたんだと思います。救出用のカプセルの名前が不死鳥（フェニックス）と名付けられたのも今日の日にあふさわしい名前だと思いました。職員室の前に今日の新聞の切り抜きを貼っておきますので、時間のあるときに読んでください。

さて、今日から後期が始まります。充実した後期となるよう皆さんも大きな「希望」をもって、自分の夢の実現に向けて毎日を大切にして勉強に部活動に頑張ってもらいたいと思います。

また、11月3日には文化祭があります。テーマは「みんなの手で向中に感動の嵐を」です。プログラムを見ましたら歌や劇、そして展示と内容も豊富でした。一人ひとりが主役となって思いっきり自分を表現してほしいと思います。